

秩高同窓会報



秩父

第 29 号

平成26年3月13日

埼玉県立秩父高等学校同窓会



噴水のある風景

1967年（昭和42年）

ピフォーアフターに「匠」として出演して



橋塚 晃 司

(昭和四十五年卒)

大改造・劇的ピフォーアフターの撮影現場では、テレビディレクターの無理難題の要求にも屈することなく、素晴らしく、そして感動的なデザインで対応できました。それは、高校時代の部活で刺激を受け、以来絶えず気に止めて心に刻んだセンスの賜物でした。

在校中の部活動は、生物地学部でした。当時は、動物班、植物班、地質班、天文班の四班に分かれ、同じ部活であっても、別々に活動していました。私は天文班でした。流星観察、星座観察、太陽の黒点観察などが主な活動です。校庭中庭の池があった付近で、望遠鏡を使用し、黒点観察を行いました。黒点が刻々と移動する画像を、今でも鮮明に記憶しています。星の観察は当然夜ですが、校庭や、時には雲取山に登り、観察することもありました。高い山で観察すると、手が届きそうな天の川の美しさや、煌びやかでとても大きな星

ぼしに感動しました。私は天文班のみならず、動物班、地質班にも顔を出し、他班の仲間とも一緒に活動をしました。そのおかげで、天体から動植物まで、自然の素晴らしさ、大切さが身に沁みたる心。今でも持ち続けています。夕焼けの美しさや、移りゆく星座、雲の形からの季節感など、大自然の美しさを楽しんでいきます。中でも今の季節、大好きな雪虫は優しく冬の香りを運んで来ました。

出演の話は突然でした。ピフォーアフターのプロデューサー二名が、テレビ番組に「匠」としての出演依頼で来社したのです。物件は、二階にお住まいのあるお寿司屋さん。築四十年とのこと。早速、撮影開始。まずは現場検証です。東日本震災では相当な揺れを感じたとのこと。地震による亀裂が、建物に多数見受けられます。ところが、一歩お寿司屋さんのお店へ入ると、古いながらも施主のオヤジさん拘りの内装で満ちていました。壁材はビララと言う松材。板目の細かい飴色に輝く、美しい板材です。だいぶ汚れていますが、

削れば生き返り、美しさを取り戻せます。これが本物の木材（無垢材）の良いところです。カウンタ―は木曽檜で、厚さ七センチもあります。これも削れば問題なく再生できます。トイレ脇には、鞍馬石の蹲（つくばい）。四十年前の照明器具も洗うだけで美しさを取り戻します。これらオヤジさん拘りのお宝たちは、再利用決定。大切に保管です。直ちに、設計図作成。何度かの打合せで簡単に決定しました。その後、業者見積、施主との工事契約等々。すべてがとてもスムーズに進みました。「ピフォーアフター」の「匠」簡単なり」と、直ちに工事着工。ところが、工事中盤に差し掛かる頃、テレビディレクターからの神妙な依頼。オヤジさん拘りの既存の品々とは別に、お寿司屋さんの象徴となる様な、インパクトの強いデザインを考えて欲しいとのこと。そこから大変な苦勞の始まりです。石や木材や植物にまでも拘るオヤジさんを満足させるインパクトある象徴？

そのデザインを模索するため、毎日、現場へ足を運ぶことになりました。そこで感じたことは、寿司職人とは「エンターティナー」だと言うこと。それは、豊富な知識から湧き出る会話と蒔薺。そして

鮮やかな寿司の握り。その段取りの良さと、できた寿司の美しさをお客様に披露します。寿司職人は、お客様にそれらを楽しんでいただく「演者」であると。厨房の付場は、まさにオヤジさんのステージそのもの。このステージの背景に、象徴的デザインとして、石の壁を設置することに決めました。それは、木曽檜産地の近郊で採取された、木曽石を貼った壁なのです。大きな石の周りに、小さな石を配する積み方、「笑い積み」としました。お客様もご家族も、いつまでも笑いが絶えない、コミュニケーションの場となることを願って。

この石の壁の発想は、四十年以上前の秩父高校の生物地学部で、動物、植物、地層を求め、野山を駆け巡り、自然を愛でた体験が生かされたものと感謝しています。（その生物地学部が消滅していたのは寂しい限りです。）



笑い積サンプル配置



玄関アプローチ



私・ディレクター・オヤジさん



店舗ビフォー（改築前）



店舗アフター（改築後）

農家屋敷別邸（秩父郡小鹿野町）▶

視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚、五感すべてに訴えかける原風景を表現してみました。おじいちゃんの家にあった懐かしい庭先や、かまどから立ち上る目に染みる煙。小腹を刺激するご飯の炊けた香り。すべてが優しく私たちを迎えてくれます。囲炉裏の間では、家長を中心とした食事や団らんができるように演出してみました。また、庭園を愛でる露天風呂を造りました。陶器風呂でゆったりくつろげ、メンテナンスも簡単に行えます。



橋塚晃司

一級建築士

工学院大学 建築学科卒業（武藤章研究室）

ハシツカ設計室 埼玉県秩父市上宮地町19-3

電話：0494-24-7544 FAX：0494-22-4382

光と風をテーマに、心地よいドラマチック
スペースを演出

主な建造物 一般個人住宅が中心

くわの実保育園・御宿竹取物語

谷津川館・農家屋敷の蔵BAR・別邸等



同窓会報の「絆」



同窓会長
浅見 豊
(昭和二十七年卒)

同窓会報「秩父」第二十九号が発行されました。この会報を手にして、三年生がすばらしい成績を残し、新しい環境に向かって旅立って行きました。

この一年、一見凡々とした平和に見える世界も、自然災害はもとより、国民が目離せない様なことがあまりにも多かったと思われまます。今年度も立派な成績を残し、母校を巣立った皆さんも、これからの勉強を基礎にして、世の中の流れをしっかりと見つける力を蓄えてください。

秩父高校は創立百余年という歳月を刻み、二万六千人にも及ぶ同窓生が秩父地域はもとより、各地で熱い要望と期待を担って活躍しております。まさに名門校として、地域の期待を百余年に渡り担ってきた秩父高校です。

この度の同窓生からの奨学金給付も、母校秩父高校への想い、後輩への激励、その「絆」そのものの表れと思います。

ぜひ「同窓会報」を多くの同窓生、関係者各位に手に取っていただき、この会報が母校の発展と秩父地域の発展の「絆」となることを望んでおります。

同窓生の皆様に支えられて



校長
吉田 光利
同窓会員の皆様には、日頃から本校へのご支援ご協力をお願いしております。特に昨年は、会則改正及び役員改選等、大変お世話になりました。

本校は本年度も引き続き、三つの目標を設定して取り組んでおります。「進路実績の向上」「志願者確保」そして「礼節を備えた人材育成」です。言うならば秩父高校版「三本の矢」です。

特に一点目につきましては、進学力グレードアップ推進事業等、県の指定も積極的に受けて取り組んでいるところですが、一方、進学校とはいえ、生徒に望ましい職業観、勤労観を身につけさせることは重要です。そこで、昨年十二月には、一年生を対象に初めて「キャリア教育」を実施いたしました。当日は、同窓生八人の皆様にお出でいただき、ご自分の職業を語っていただきました。生徒は、各々が関心のある職業の話を通じて、よい刺激となりました。生徒にとっては、よい刺激となり有意義な学習時間となりました。今後も、継続していききたいと考えております。

このように、同窓生の皆様には多方面にわたって本校を支えていただいております。改めて御礼申し上げます。今後、本校発展のために教職員一丸となって努めていく所存です。引き続き、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

継続は力なり

千葉ロッテマリーンズ

黒沢 翔大
(平成十九年卒)

二〇一三年八月二十九日対福岡ソフトバンク戦七回表、やっと一軍のマウンドに立つことができた。アウエーの歓声の中、マウンドでは緊張はほとんど無く、あの景色は今でも鮮明に覚えている。投げ終わった時、僕は「一試合でも多く一軍のマウンドで投げたい。」という気持ちでいっぱいだった。二〇一〇年のドラフト会議。育成指名で千葉ロッテに入団したが、高校時代の自分からは想像できることではなかった。高校時代の僕は体が細く、力もあるほうではなく、苦しいことも多かったが、それでも野球が嫌いになることはなかった。一年生の時は、夏の大会が終わるまでは雑用が多く、野球をしたという記憶は少ない。そのような状況でも、何試合か出られた試合は嬉しかった。それ以降、試合の出場回数は増えたが、プロのレベルとはほど遠かった。それでも上のレベルでプレイしたいという思いを胸に、大学野球へ進んだ。

大学では最初、周りは強豪校出身者ばかりで、全く相手にされなかった。しかし、日々の野球生活の中でチャンスをもたらす、結果を残すと、自分自身の成長が見えてきた。そんな大学三年の春、リ

グ戦でタイトルを獲得することが、プロを目指すきっかけになった。野球の練習は同じことの繰り返しだが、一步一步着実に進むために、日々の練習を大事にした。怪我に悩まされた時期もあったが、プロへの道を諦めることは決してなかった。

最後に、後輩の皆さんへ一言。僕は野球という道を選んだが、人によって進むべき道は多種多様だ。それぞれが目標を持って、自分の選んだ道で日々努力を著実に積み重ねていけば、きっと成長できると思う。僕自身、秩父高校出身であるということを誇りに思い、これからはさらに頑張っていきたい。



43 SHOTA KUROSAWA
千葉県大学野球連盟に加盟している城西国際大学に進学。3年時の春季リーグでは、最多勝と奪三振王に輝く。2010年10月28日、プロ野球ドラフト会議にて千葉ロッテマリーンズから育成1位指名を受けた。11月13日、育成選手で契約。2011年は二軍で9試合に登板し、1勝1敗、防御率1.69の成績を残したが、支配下登録はならなかった。2012年も支配下登録はならなかったが、14試合で防御率3.00の成績を残した。2013年シーズンは7月30日の時点で15試合登板、1勝0敗、防御率1.80の好成績を残していたことから、2013年7月30日、支配下登録されることが発表された。背番号は43に決定した。

黒沢翔大

祝！ 『秩高四十回生同窓会』開催

権田 昭二
(平成二年卒)

新春四日、秩高四十回生五十七名が、二十四年振りの再会を果たしました。四十二歳（昭和四十六年生）の私たちは、第二次ベビーブームに誕生。年間新生児二〇〇万人と現在の二倍世代。昭和六十二年入学時には、臨時定員増の一年四百七十八人（一クラス四十七人十クラス）のすし詰め状態。昼食になると、チャイムと同時に学食へ走り出し、定食完売なんてことも。高二の時には、元号が昭和から平成に変わり、大学受験では、初のセンター試験実施。受験は何処も高倍率。過酷な受験戦争を潜り抜け、漸く入学。卒業してみれば、バブル経済の崩壊。そして就職の大氷河期と、非常に過渡的な時代ではありましたが、その御蔭で、図太く、且つ強かに、生き抜いて来た同窓生との再会は、感無量な思いでありました。

当日は、秩高に十年以上在職された田尻信一先生を、恩師として迎えました。先生は、秩高から再度、勉学のため大学



院に進学。博士号取得後、筑波大付属筑波高、国立富山大で教壇に立ち、現在では、共立女子大学教授として活躍をされています。先生は私たちに、自らの経験を通じて、「生き抜いて行く力」の重要性を説き、生涯勉強の精神、そして謙虚に生きる大切さをご教示なされました。我々が出会った頃の先生は、三十代前半でしたが、御年五十七歳とは思えぬ探究心と実直さは、我々の成長より、恐縮にも恩師の成長、力強さを実感いたしました。

同窓生は教員も多く、民間、国家・地方公務員、団体職員、歯科医師、医療職、中にはプロゴルフアーになっている者等、創立百七年の伝統ある進学校として、秩父内外を問わず、多方面で活躍しており、秩高卒生の『誇り』を再認識できる会でもありました。今後同窓人脈を最大限に生かし、バリバリ仕事をしていこうと思えます。また、今後、都内で活躍している同窓生も多くいることから、都内勤務者で（仮）東京『秩高会』を立ち上げられるよう検討していくと共に、秩父・東京間の同窓ネットを強化し、母校『秩高』を盛り上げていきたいと思っております。

一年キャリア教育

一学年主任 武田 憲治

秩父高校における初の試みとして、昨年十二月一日（月）に「キャリア教育講演会」を実施しました。この講演会は、様々な職業に就いておられる本校卒業生の方々に各分科会場で講演をしていただき、生徒の望ましい勤労観・職業観や、自己の在り方生き方を考える機会とするために行われました。幸いなことに、当日は八名の卒業生の方々が後輩のために講演してくださいました。生徒達は将来就きたい仕事や関連する仕事、興味・関心のある仕事等の講演を自ら選択して聴きました。

すべての会場の様子を拝見しましたが、先輩である卒業生の方々は、後輩である生徒に対し、一様に真摯で熱心な話をされていました。生徒にとっては、理解しにくい話や難しい話もあったかもしれませんが、しかし、この講演会を機会に、各々が自分の将来をしっかりと見据え、今後じっくりと考えていってほしいと思います。

講師一覧 (敬称略)

- 【金融】 武甲証券株式会社専務取締役 吉川幸太郎 (平成元年卒業)
- 【経済・産業】 キヤノン電子株式会社常務取締役 石塚 巧 (昭和五十二年卒)
- 【科学・技術】 ハシヅカ設計室 橋塚晃司 (昭和四十五年卒)

【保健・福祉】

岩田産婦人科助産師 高橋律子 (昭和五十五年卒)

【公務員】 秩父市立病院医療事務連携課 持田功子 (昭和五十三年卒)

【教育】 北部教育事務所秩父支所指導主事 福島 剛 (昭和六十一年卒)

法政大学経済学部准教授 飯野 厚 (昭和五十八年卒)

【幼児教育】 くわの実保育園保育士 斉藤ひろみ (昭和六十年卒)



福田奨学金給付について

平成二十四年度給付者

福田奨学金Ⅱ (旧帝大・医薬学部 (一人につき十万円を支給))

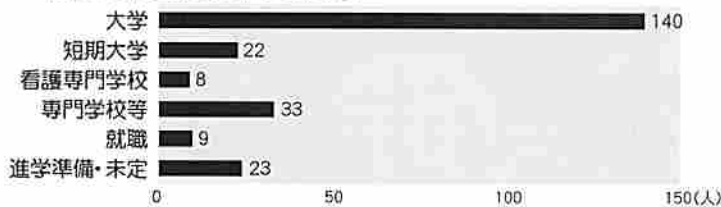
静岡県立大学薬学部合格 横山 葵

福田奨学金Ⅰ (成績優秀者) (一人につき六万円を支給)

- 一年六組 引間 琴美
- 一年七組 加藤 杏
- 二年七組 浅野 実
- 二年七組 出浦 眞紀
- 二年七組 有満 雅人
- 三年七組 加藤 尚明
- 三年七組 武石 匡史
- 三年七組 鈴木 和貴

進路状況 10人に1人が国公立大学現役合格

◎2012年度卒業生進路決定状況



北部5校難関大合同合宿

◎大学等の合格状況（過去3ヶ年）

国公立大学

学校名	合格者数(人)		2012年度卒		2011年度卒		2010年度卒	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
北海道大学		1						
北見工業大学								1
東北大学							2	
秋田大学	1							
山形大学			1		1			
福島大学	1							
茨城大学							1	1
筑波大学					1			
宇都宮大学	1		1					
群馬大学					3		3	
埼玉大学	3		3		3			
千葉大学	2	1					1	
東京学芸大学	1	1	1					
電気通信大学							2	
横浜国立大学							1	
新潟大学	2							
山梨大学	2		2					
信州大学		1					1	
富山大学	1						1	
静岡大学			1					
名古屋大学			1					
愛媛大学							1	
群馬県立女子大学	1	1	2		1			
高崎経済大学	1		2		1			
前橋工科大学	1							
埼玉県立大学	1		3		2			
首都大学東京	1				1			
都留文科大学			1		1			
福井県立大学			1					
静岡県立大学	1							
計	20	5	23	0	23	2		

私立大学

学校名	合格者数(人)		2012年度卒		2011年度卒		2010年度卒	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
青山学院大学	1	1	2		1			
亜細亜大学	3		5		5			
学習院大学	3	2	1		1			
北里大学	5		1	1	3			
国学院大学	1		2	1	4	1		
駒澤大学	7		7	2	4	2		
成城大学	1		1		1			
専修大学	3		5	1	3	1		
大東文化大学	16		23		15	1		
拓殖大学	3		4		2			
中央大学	2		3	4	4	3		
津田塾大学		2			1			
帝京大学	12		5		6			
東海大学	7		14	1	10			
東京女子大学					1			
東京理科大学			2	1	4			
東洋大学	19		27	4	9	3		
獨協大学	4	2	2	1	1			
日本大学	21	2	35	1	6	3		
日本女子大学	1				1			
文教大学	2		9		7			
フェリス学院大学	2							
法政大学	1	4	7	1	3	3		
武蔵大学	3	3	9		2	1		
明治大学	1	2	4		4	1		
明治学院大学	1				4			
明治薬科大学	3				1			
立教大学	1	1	1	2	4	2		
立命館大学	2		2					
早稲田大学			1			1		
その他								
計	288	23	331	24	233	32		

短期大学

学校名	2012年度卒	2011年度卒	2010年度卒
青山学院女子短大		1	
秋草学園短大	5	2	3
大妻女子短大	1		1
埼玉医科短大	3	4	2
埼玉純真短大	2	1	1
埼玉女子短大	1	5	
昭和音大短大	1		
実践女子短大	1		
杉野服飾短大	1		
東京家政短大	5		2
東京成徳短大	1		
武蔵野短大	1	2	
立教大学院短大	1		
山村学園短大	1		
その他			
計	26	22	19

看護系学校

学校名	2012年度卒	2011年度卒	2010年度卒
国立西埼玉中央病院付属看護学校	2	1	
埼玉県立高等看護学院	4	6	3
都立広尾看護専門学校			1
北埼玉医師会准看護学校	1		
秩父看護専門学校	2	4	2
熊谷市医師会看護専門学校	1		
獨協医科大学付属看護専門学校	1		
本庄児玉看護専門学校	1		5
毛呂病院看護専門学校	1	3	5
杏林大学医学部付看護専門学校		1	1
埼玉医科大学付属看護専門学校		2	2
昭和大学医学部附属看護専門学校		1	
東京医科大学看護専門学校			1
深谷大里看護専門学校			2
国際化 ｲｲ看護専門学校	1		
社会保険中央看護専門学校		1	
東京厚生年金看護専門学校		1	
上尾中央看護専門学校			1
太田高等看護学校			1
共立高等看護学校			1
埼玉赤十字専門学校			(1)
計	14	20	25(1)

公務員・就職

学校名	2012年度卒	2011年度卒	2010年度卒
国家公務員Ⅲ種			1
神奈川県警察	(1)		
埼玉県職員(小・中学校事務職員)		1	
秩父市職員	1	1	1
秩父消防本部	1		
東京消防庁	1		
東京都特別区	1		
皆野町役場	1		
横浜市職員	1		
自衛官		1	
診療印刷	1		
八建興業(東京都)	1		
㈱東京電力埼玉支店			1
㈱キャノン電子			1
㈱武甲証券			1
その他	1		3
計	9(1)	3	8

進学希望に応じたクラス編成

特別進学クラス

国公立大学、難関私立大学への進学を目指し、選抜試験で1クラス編成します。生徒に質の高い授業を行うとともに、さらに、確実な学力向上を図るために、1・2年次は週4回7時間授業を行います。土曜衛星講座（1年）、土曜特別講座（2年）の全員受講、定期的実施する模擬試験への全員受験、平日補習やサマースクールへの参加を通じ、学力の一層の伸張を図り、大学進学の夢を叶えます。ここ3年間では、東北大、名古屋大、筑波大、埼玉大など特別進学クラスからは、ほぼ3人に1人の割合で国公立大学に現役合格しています。

進学アドバンスクラス

進学アドバンスクラスは、国公立大学、難関私立大学への進学を目指す特進クラスに準じた選抜クラスです。このクラスは1年次より、希望者を対象に選抜を行い、1クラス編成します。2・3年次は特進クラス同様に国公立・私大理系コースに進みます。授業時間数は一般クラスと同じですが、質の高い授業を行い、模擬試験やサマースクールなどの各種学習指導を通じ、確実な学力を養成します。平成24年度は、6名の生徒が国公立大学に合格しました。

私文選抜クラス

私文選抜クラスは、文系難関私立大学への進学を目指すクラスで、質の高い授業を行い、確実な学力を養成します。このクラスは2年次から希望者を選抜し、2年次、3年次に1クラス設置します。授業時間数は一般クラスと変わりませんが、土曜特別講座やサマースクールの受講、模擬試験への受験は特進クラスに準じています。

特色ある取り組み

国際交流事業への展開

国際化が進む中、国際交流も本校教育の大切な柱です。平成9年よりオーストラリアのロビーナ高校と姉妹校提携を結び、相互に海外派遣（語学研修）を行い交流しています。さらに、オーストラリアのマンリー・セレクトティブハイスクールとテレビ会議の交流もあります。



ロビーナ高校との国際交流

大学との連携 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP)

文部科学省管轄の科学技術者養成事業。大学と連携し、大学の施設・教授による質の高い授業や実験を体験できます。理系の学問に興味のある生徒に、人気のプログラムです。平成25年度は筑波大学と連携し、「恐竜時代を探る」を受講しました。

地域との連携 チャレンジスクール

地元の小学校との交流事業。夏休み中に、本校図書館にて、本校生徒が小学生に勉強を教えます。教員志望の生徒にとっては貴重な経験となり、教える難しさや楽しさを実感できます。この様子は、昨年度お昼のNHKニュースでも紹介されました。

平成25年度の主な部活動実績

運動部

- 弓道部 関東大会埼玉県予選会 男子団体9位
インターハイ埼玉県予選会 男子団体9位
インターハイ埼玉県予選会 男子個人7位
インターハイ埼玉県予選会 女子個人7位
- 野球部 第95回全国高等学校野球選手権埼玉大会
4回戦進出
平成25年度北部新人大会ベスト8
平成25年度埼玉県秋季大会出場
- 柔道部 埼玉県高等学校柔道選手権大会団体・個人出場
- 男子ソフトテニス部 埼玉県ソフトテニス新人大会 団体・個人出場
- 女子ソフトテニス部 秩父市民大会一般女子の部準優勝
- 女子バスケットボール部 県北新人大会ベスト8（県大会出場）
- 女子バレーボール部 全国高校総体埼玉県予選会出場



全国高等学校野球選手権埼玉大会4回戦（対上尾戦）

- 女子ソフトボール部
- 陸上競技部 学校総合体育大会県大会出場
男子100mH、400mH、走幅跳、
4×100mR、4×400mR、女子4×100mR
- 卓球部 関東大会埼玉県予選・学校総合体育大会
埼玉県予選会、女子個人・団体出場
- 文化部
- 音楽部 埼玉県合唱コンクール銀賞
第2回ちちぶ国際音楽祭
「旅立ちの日に」合唱コンクール最優秀賞
- 吹奏楽部 ウニクス野外コンサート・
第11回ふれあいフェスタ長壽参加
- 箏曲部 埼玉県邦楽コンクールII部銅賞
- 書道部 埼玉県書き初め中央展入選
埼玉県硬筆中央展入選
- 科学部 第3回科学の甲子園埼玉県一次予選参加
- 茶道部 青少年育成茶会参加
- 新聞部 埼玉県学校新聞コンクール優良賞
- 家庭科部 埼玉県家庭クラブ指導者養成講座運営担当
- 文芸・図書部 第12回埼玉県高校生文芸コンクール
散文部門最優秀作品賞 1年5組 横田実優
- 美術部 第56回埼玉県高校美術展出品
- 放送部 第11回関東地区放送コンクール埼玉大会
朗読・アナウンス部門出場
第38回全国高等学校総合文化祭放送部門参加
- 将棋同好会 会員相互対戦

事務局だより

この度は、購読継続の更新、また新規購読の申し込みをしていただき、誠にありがとうございます。編集委員一同ご協力に感謝いたします。今後五年間が購読期間になりますので、よろしくお願いいたします。

今回、五年に一度の購読の更新をさせていただきましたが、残念ながら前回の五〇〇名近くいた購読者数が、三〇〇名近くに減ってしまいました。

事務局といたしましては、購読者の数を増やしたいと考えており

ます。お知り合いの方等で、購読を希望される方がございましたら、本校事務局までご連絡をいただければ幸いと存じます。

現在、同窓会報の編集は、同窓職員五名と、外部編集委員二名で担当しております。会報編集委員にご推薦いただける方がおりましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。

また、様々な分野で御活躍の卒業生がおりましたら、ご連絡いただければ幸いです。

最後に、会員の皆様の今後のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。

編集後記

『ゲゲゲから じえじえじえになって 好景気』
この川柳は、ある有名企業が『マネー』を題材としたものの中で、大賞を受賞した作品です。

NHKの朝のドラマで話題となり、その年の流行語大賞を獲得した言葉を活用し、最近の景気の状態を巧みに表現していると評価されたようです。メディアなどでは、昨今の景気の改善状況を『アベノミクスによる効果』として取り上げていますが、今ひとつ実感がわいてこないのは何故なのでしょう。政府や日本銀行などが発表するいくつかの経済数値は、経済の回復を示す内容になっていま

すが、残念ながら庶民の生活はその状況とは異なる環境にあるような気がいたします。

さて、秩父高校の生徒たちはというと、学校での限られた時間を有効に活用しながら、生徒の自分である勉強と部活動に、日々真剣に取り組んでいます。このような姿勢は、高校生としては当たり前のことなのでありますが、その当たり前のことを続ける難しさを知る者としては、無条件で応援したくなります。そして、この生徒たちの努力が結実し、自らの可能性を発揮する機会が獲得できることを期待しています。

最後になりますが、同窓会の皆様には、これまで多くのご支援をいただき感謝いたします。また、今後とも変わらぬご協力をいただきますようお願い申し上げます。

同窓会報編集委員

外部編集委員

- 坂本由美子 (昭和五十七年卒)
- 逸見 勝久 (昭和五十七年卒)
- 同窓職員
- 守屋清太郎 (昭和四十九年卒)
- 萩原 雅人 (昭和五十一年卒)
- 高野 裕男 (昭和五十六年卒)
- 中澤 公 (昭和五十六年卒)
- 飯島 章夫 (昭和六十年卒)

平成24年度会計報告

《積立金》

平成24年度決算		平成25年度予算	
第1款 会費	0	第1款 積立金	500,000
第2款 積立金	500,000	第2款 繰越金	11,606,234
第3款 繰越金	10,602,209	第3款 雑収入	20,000
第4款 雑収入	3,422		
合計	11,606,234	合計	12,126,234

平成24年度決算		平成25年度予算	
第1款 一般会計へ繰入	0	第1款 一般会計へ繰入	0
第2款 その他	0	第2款 その他	0
合計	0	合計	0

○積立金11,606,234円は、埼玉縣信用金庫及び武蔵野銀行に定期預金として保管しています。

《一般会計》

平成24年度決算		平成25年度予算	
第1款 同窓会入会金	1,175,000	第1款 同窓会入会金	1,180,000
第2款 積立より繰入	0	第2款 積立より繰入	0
第3款 繰越金	1,154,971	第3款 繰越金	1,295,721
第4款 雑収入	30,343	第4款 雑収入	808,000
合計	3,095,510	合計	3,283,721

○平成25年度予算第4款雑収入には会報購読料が含まれています。

平成24年度決算		平成25年度予算	
第1款 事務費	53,333	第1款 事務費	100,000
第2款 会議費	62,100	第2款 会議費	100,000
第3款 事業費	149,250	第3款 事業費	450,000
第4款 同窓会会報費	142,180	第4款 同窓会会報費	300,000
第5款 奨学金	150,000	第5款 奨学金	150,000
第6款 積立金	500,000	第6款 積立金	500,000
第7款 予備費	7,730	第7款 予備費	1,683,721
合計	2,360,314	合計	3,283,721

○主な支出 ・ 激励費 (事業費) ・ 卒業記念品 (事業費)
・ 総会 (事務費) ・ 会報印刷、発送 (同窓会会報費)

秩高同窓会報「秩父」第二十九号

平成二十六年三月十三日

埼玉県立秩父高等学校同窓会

秩父市上町二一三三四五

電話 〇四九四 (二) 三三〇六

FAX 〇四九四 (二) 一〇四一